



FMI ADD-IN FOR EXCEL®

▶ 適用範囲

- ・ オープンスタンダード
FMIを通じたExcel上の物理
モデルのシミュレーション
- ・ モデル展開のプラットフォーム
- ・ 設計空間の探索とバッチ
シミュレーション

▶ 主な機能

- ・ モデル交換とコーシミュレ
ーションFMUのサポート
- ・ パラメータ考察と感度解析
- ・ FMUの並列計算
- ・ Visual Basic スクリプトによる
FMU計算の自動化

▶ ユーザメリット

- ・ 最先端物理モデリングツールの活用
- ・ 使い勝手の良いスプレッドシートとの統合
- ・ FMIスタンダードによる柔軟な
クロスプラットフォームの相互運用性の保証
- ・ 物理モデルの大規模展開

FMI Add-in for Excel® は物理モデルの定常と動的シミュレーションをExcel®上で統合することを可能にします。使いやすい関数を利用することで、バッチ処理シミュレーションとパラメータ考察へのアクセスは可能となり、高度なモデル解析を素早く行うことができます。

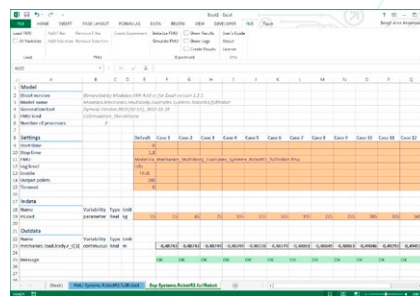
忠実度の高い物理モデルは製品開発の過程でシステム性能とロバスト性の評価に有用な手段です。設計サイクルの初期段階で、パラメータ考察と感度解析は部品の変動がシステム性能に与える影響の情報と洞察を提供してくれます。スプレッドシートは物理モデルから設計空間探索データを取得する便利な環境となります。

FMI Add-in for Excel® はFMIスタンダードを通して、Dymola®、SimulationX®を含む最先端のModelica系ツールをMicrosoft Excel®と繋げます。

Excel®にインポートされたモデルの入力とパラメータはスプレッドシートの標準操作で簡単に設定できます。

FMI Add-in for Excel® ではバッチ処理の時間を短縮するために、FMUの並列計算をサポートしています。Visual Basic スクリプトを利用すると、主な自動化機能とカスタム開発も実現できます。

FMI Add-in for Excel® をFMUシミュレーションのためのオーサリングバージョンと大規模展開のためのランタイムバージョンの2つのライセンス形態で提供しています。



FUNCTIONAL MOCK-UP INTERFACEとは

Function Mock-up Interface (FMI) は動的モデルの交換とコーシミュレーションのためのオープン・スタンダードです。FMI準拠モデル (Function Mock-up Units (FNU))はコンパイルされたモデルです。これは、動的モデルを必要とする幅広いエンジニアリング問題に適用できます。FMUの中にコンパイルされたコードとインタフェース定義だけが配布されるため、モデリングのノウハウが守られます。FMI技術は多数のオープン・ソースやコマーシャル・ツールに採用されているため、コンパイルされたモデルの交換が簡単にできます。詳細情報については、下記サイトをご参照下さい。

www.fmi-standard.org

Modelon

EXCEL® VERSION 2007 FOR MICROSOFT® WINDOWS® AND LATER IS SUPPORTED. EXCEL® AND WINDOWS® IS A TRADEMARK OF MICROSOFT INC®. DYMOLA® IS A TRADEMARK OF DASSAULT SYSTÈMES AND SIMULATIONX® IS A TRADEMARK OF ITI GMBH.